

現代文化分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DH303	文化生成論特論ⅠA	2	1.5	1・2	春ABC	火3	人社A721	濱田 真	近代から現代にかけてのドイツの主要な文化論を取り上げて、文化形成の諸問題について考察する。特に18世紀の啓蒙主義から19世紀のロマン主義にかけての歴史哲学、解釈学、芸術論に焦点を当てる。	西暦奇数年度開講。01DE303と同一。
02DH304	文化生成論特論ⅠB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	火3	人社A721	濱田 真	近代から現代にかけてのドイツの主要な文化論や芸術論を取り上げて、文化・自然・歴史をめぐる議論にどのような変化が見られるのか考察する。	西暦奇数年度開講。01DE304と同一。
02DH307	文化動態論特論(1)ⅠA	1	1.5	1・2	春ABC	水3	人社B615	清水 知子	ポストヒューマニティーズの文化について哲学、芸術、科学、人類学の交錯する理論的な地平を探る。	西暦奇数年度開講。01DE307, 01DR597と同一。
02DH308	文化動態論特論(1)ⅠB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	水3	人社B615	清水 知子	新しい唯物論とフェミニズム、とりわけエコフェミニズムに関する理論的な地平を探る。	西暦奇数年度開講。01DE308, 01DR598と同一。
02DH311	文化動態論特論(2)ⅠA	2	1.5	1・2	春A 春BC	金6	人社A721	山口 恵里子	人類学と美術史のアプローチを接続させ、「イメージ」を人類学的現象として捉える。西洋中心主義的な芸術規範に基づく「芸術作品」の枠組みを問い直すことになる。	西暦奇数年度開講。01DE311と同一。
02DH312	文化動態論特論(2)ⅠB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	金5	人社A721	山口 恵里子	イメージ人類学のアプローチを具体的な事例に応用することを試みる。非西洋の文化圏における「モノ」の研究、西洋の「芸術」、「人工物」といった境界を無効にする「イメージ」研究の可能性を開く。	西暦奇数年度開講。01DE312と同一。
02DH315	文化構造論特論ⅠA	2	1.5	1・2	春A 春BC	金4	人社A721	佐藤 吉幸	現代文化を理解するための基礎文献を講読し、文化構造の分析に必要な理論を習得する。今年度はネグリ=ハート『アセンブリ』を講読し、グローバル化と新自由主義の時代における社会運動の可能性について考察する。文化構造論ⅠBと連続して授業を行う。	西暦奇数年度開講。01DE315と同一。
02DH316	文化構造論特論ⅠB	2	1.5	1・2	春A 春BC	金5	人社A721	佐藤 吉幸	現代文化を理解するための基礎文献を講読し、文化構造の分析に必要な理論を習得する。今年度はネグリ=ハート『アセンブリ』を講読し、グローバル化と新自由主義の時代における社会運動の可能性について考察する。文化構造論ⅠAと連続して授業を行い、学生と教員との議論を通じて理解を深める。	西暦奇数年度開講。01DE316と同一。
02DH319	文化対照論特論ⅠA	2	1.5	1・2	春A 春BC	木5	人社B615	対馬 美千子	異なる文化を照らし合わせるにより見えてくる文化の側面について、主に文学や思想の文献を講読することにより探求する。とくに現代文化の言語に関わる諸現象について様々な角度から考察する。	西暦奇数年度開講。01DE319と同一。要望があれば英語で授業
02DH320	文化対照論特論ⅠB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	木5	人社B615	対馬 美千子	異なる文化を照らし合わせるにより見えてくる文化の側面について、主に文学や思想の文献を講読することにより探求する。とくに現代文化の表象に関わる問題について様々な角度から考察する。	西暦奇数年度開講。01DE320と同一。要望があれば英語で授業
02DH323	文化差異論特論ⅠA	1	1.5	1・2	春A 春BC	金3	人社A721	竹谷 悦子	国家の枠組みを超えたトランスナショナルなネットワークをフェミニズムの座標軸から読み解く。	西暦奇数年度開講。01DE323, 01DQ059と同一。要望があれば英語で授業
02DH324	文化差異論特論ⅠB	1	1.5	1・2	秋A 秋BC	金3	人社A721	竹谷 悦子	国家の枠組みを超えたトランスナショナルなネットワークを人種の座標軸から読み解く。	西暦奇数年度開講。01DE324, 01DQ060と同一。要望があれば英語で授業
02DH327	文化現象論特論ⅠA	2	1.5	1・2	春A 春BC	火4	人社B615	江藤 光紀	文化現象のさまざまな現れについて研究する。おもに20世紀以降から現代の欧米、日本の芸術および文化事象を扱う。	西暦奇数年度開講。01DE327と同一。
02DH328	文化現象論特論ⅠB	1	1.5	1・2	秋A 秋BC	火4	人社B615	江藤 光紀	20世紀以降から現代の欧米、日本の芸術および文化事象が、どのように現象するのかについて、文献を読みながら討論する。	西暦奇数年度開講。01DE328と同一。
02DH339	異文化地域論特論(1)ⅠA	1	1.5	1・2	春A 春BC	水2	人社B615	畔上 泰治	ドイツ語圏を中心に、ヨーロッパ地域における20世紀以降の社会・文化を対象にします。とくにさまざまな価値観の総意から生じた衝突を見ていきます。	西暦奇数年度開講。01DE339, 01DQ208と同一。
02DH340	異文化地域論特論(1)ⅠB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	水2	人社B615	畔上 泰治	現代ヨーロッパ地域における20世紀以降の社会・文化の諸問題を見ていきます。とりわけドイツ語圏の諸問題を扱う予定です。	西暦奇数年度開講。01DE340, 01DQ209と同一。
02DH347	異文化地域論特論(3)ⅠA	2	1.5	1・2	春ABC	金5	人社B615	宮崎 和夫	スペイン帝国支配下(16-17世紀)の諸地域の文化の様々な側面を、ヨーロッパまたはヨーロッパ以外の諸地域の文化との対峙と交流の観点から考察する。	西暦奇数年度開講。01DE347と同一。Lectures are conducted in Japanese.

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DH348	異文化地域論特論(3)IIB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	金5	人社 B615	宮崎 和夫	スペイン帝国衰退期(17世紀)の社会と文化の諸相、とりわけヨーロッパ近代社会や近代文化の萌芽的要素を探究する。	西暦奇数年度開講。 01DE348と同一。 Lectures are conducted in Japanese.
02DH351	異文化交流論特論IIA	2	1.5	1・2	春ABC	水2	人社 A724	馬籠 清子	異なる芸術分野(文学・音楽・美術など)の接点を分析する。	西暦奇数年度開講。 01DE351と同一。
02DH352	異文化交流論特論IIB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	水2	人社 A724	馬籠 清子	春学期に引き続き、異なる芸術分野(文学・音楽・美術など)の接点を分析する。	西暦奇数年度開講。 01DE352と同一。
02DH363	科学文化論特論IIA	2	1.5	1・2	春A 春BC	火6	人社 B615	廣瀬 浩司	科学的知と身体性の関係などにつき、文献を講読する。	西暦奇数年度開講。 01DE363と同一。
02DH364	科学文化論特論IIB	1	1.5	1・2	秋A 秋BC	火6	人社 B615	廣瀬 浩司	現象学やフランス現代思想をはじめとする二〇世紀思想、科学論、心理学などの成果を意識しながら、科学と文化の関係についての文献を精読する。	西暦奇数年度開講。 01DE364と同一。
02DH367	境域文化論特論IIA	2	1.5	1・2	春A 春BC	月4	人社 B615	中田 元子	19世紀後半のイギリスにおける女性の職域と移動の自由の拡大について、当時の新聞、雑誌、文学作品などによって考察する。	西暦奇数年度開講。 01DE367と同一。
02DH368	境域文化論特論IIB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	月4	人社 B615	中田 元子	19世紀後半のイギリスにおける女性の職域と移動の自由の拡大について、当時の新聞、雑誌、文学作品などによって考察する。	西暦奇数年度開講。 01DE368と同一。
02DH371	イメージ生成論特論IIA	2	1.5	1・2	春ABC	火5	人社 A715	吉野 修	現代文化をイメージが生成し消滅する現場ととらえ、言語的表現や映像芸術におけるイメージの諸相とその意義を論考する。	西暦奇数年度開講。 01DE371と同一。
02DH372	イメージ生成論特論IIB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	火5	人社 A715	吉野 修	文学作品や現代芸術の作品などを分析対象にして、イメージが生成し消滅するプロセスが表象システムとどのように関係するかという問題を検討する。	西暦奇数年度開講。 01DE372と同一。
02DH373	論文演習IA	2	1.5	1	春ABC	応談		江藤 光紀	主指導の教員による博士論文作成のための指導。	主として博士後期課程 1年次対象 主専攻必修科目。
02DH374	論文演習IB	2	1.5	1	秋ABC	応談		江藤 光紀	主指導の教員による博士論文作成のための指導。	主として博士後期課程 1年次対象 主専攻必修科目。
02DH375	論文演習IIA	2	1.5	2・3	春ABC	応談		竹谷 悦子, 山口 恵里子, 清水 知子	主指導の教員による博士論文作成のための指導。	主として博士後期課程 2年次対象 主専攻必修科目。
02DH376	論文演習IIB	2	1.5	2・3	秋ABC	応談		竹谷 悦子, 山口 恵里子, 清水 知子	主指導の教員による博士論文作成のための指導。	主として博士後期課程 2年次対象 主専攻必修科目。
02DH377	論文演習IIIA	2	1.5	1 - 3	春ABC	応談		竹谷 悦子, 廣瀬 浩司, 山口 恵里子, 宮崎 和夫, 江藤 光紀, 佐藤 吉幸, 清水 知子	主指導の教員による博士論文作成のための指導。	主として博士後期課程 3年次対象 主専攻必修科目。
02DH378	論文演習IIIB	2	1.5	1 - 3	秋ABC	応談		竹谷 悦子, 廣瀬 浩司, 山口 恵里子, 宮崎 和夫, 江藤 光紀, 佐藤 吉幸, 清水 知子, 馬籠 清子	主指導の教員による博士論文作成のための指導。	主として博士後期課程 3年次対象 主専攻必修科目。

言語情報分野

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DH411	言語情報論特論IIA	2	1.5	1・2	春ABC	木5	人社 B607	宮腰 幸一	日本語のヴォイス(特に受動と使役)について、他言語との比較・対照をしながら考察する。	西暦奇数年度開講。 01DE411と同一。 要望があれば英語で授業
02DH412	言語情報論特論IIB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	木5	人社 B607	宮腰 幸一	春学期に引き続き、日本語のヴォイス(特に受動と使役)について、他言語との比較・対照をしながら考察する。	西暦奇数年度開講。 01DE412と同一。 要望があれば英語で授業
02DH419	異文化言語比較特論演習IIA	2	1.5	1・2	春ABC	水3	人社 A708	柳田 優子	生成文法理論の理解を深めるために基本的文献を講読する。日本語、英語に焦点をあて、文や動詞句、名詞句構造に関わるテーマを扱う。	西暦奇数年度開講。 01DE419と同一。
02DH420	異文化言語比較特論演習IIB	2	1.5	1・2					共時的、通時的な観点から、日本語、英語を中心とした諸言語の文、動詞句、名詞句構造に焦点をあて、言語間の違いを類型論の立場から検討する。	西暦奇数年度開講。 01DE420と同一。 2019年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DH423	異文化言語習得論特論 IIA	2	1.5	1・2	春A 春BC	月2	人社 A721	卯城 祐司	外国語として英語を学ぶ上で、文字言語情報をより正確かつ高度に処理するプロセスやその習得の解明を目指していく。特に読み手の知識や経験、関心、スタイルおよび認知的な要因が「読み」にどのような影響を与えているのか、読み手の心の中に生じているプロセスの分析を試み、リーディング能力の優劣はどのような要因から決定されるのか探る。	西暦奇数年度開講。 01DE423と同一。
02DH424	異文化言語習得論特論 IIB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	月2	人社 A721	卯城 祐司	外国語として英語を学ぶ上で、文字言語情報をより正確かつ高度に処理するプロセスやその習得の解明を目指していく。その応用としてリーディング能力獲得への英文読解指導法を提言する。さらに、理論と実践研究にかかわる諸問題を考察していく中で、受講生が各自の問題意識を鮮明に持つよう討議を進め、外国語習得理論および英文読解理論の究明に寄与する実験研究の手法やリサーチデザインについて学んでいく。	西暦奇数年度開講。 01DE424と同一。
02DH427	異文化言語教育評価論特論 IIA	2	1.5	1・2	春A 春BC	木4	人社 A721	平井 明代	言語評価及びテスト作成の理論を学ぶ。授業評価や研究計画を立てる際に必要な知識を身につける。また、実際にさまざまな評価・統計手法を使えるように演習する。	教室:人社棟A721 西暦奇数年度開講。 01DE427と同一。
02DH428	異文化言語教育評価論特論 IIB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	木4	人社 A721	平井 明代	仮説検証型の研究を実施するための、さまざまな最新の統計手法を学ぶ。また、研究テーマを絞り、研究発表を行っていく。	教室:文科系修士棟 8B201 西暦奇数年度開講。 01DE428と同一。
02DH431	異文化言語教育教材論特論 IIA	2	1.5	1・2	春ABC	水3	人社 A721	久保田 章	言語教材論の観点から、言語の習得と教授にかかる理論的、実践的研究に関する文献を講読し、問題点について議論する。特に認知的な研究を背景として、教材論の体系化をめざす。	西暦奇数年度開講。 01DE431と同一。
02DH432	異文化言語教育教材論特論 IIB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	水3	人社 A721	久保田 章	言語教材の開発と第二言語習得研究の関係について、教材の評価等の観点から具体的に考察する。	西暦奇数年度開講。 01DE432と同一。
02DH455	異文化言語特論演習 (1) IIA	2	1.5	1・2	春ABC	木3	人社 A721	磐崎 弘貞	本授業の目的は、(a)APAスタイルによって、論文執筆をするための表現練習を行い、(b)論文での表現力を高めるためのコーパスその他の検索ツールを学ぶことである。	西暦奇数年度開講。 01DE455と同一。
02DH456	異文化言語特論演習 (1) IIB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	木3	人社 A721	磐崎 弘貞	本授業の目的は、(a) 英語論文/資料の要約方法を学び、(b) 研究メモ/資料から実際の論文を執筆する手法を学ぶことである。毎回の課題提出と添削から、実際の論文執筆に即して、こうした点を具体的に学んでいく。	西暦奇数年度開講。 01DE456と同一。
02DH459	異文化言語特論演習 (3) IIA	2	1.5	1・2	春ABC	火5	人社 A707	住大 恭康	特定の状況・脈絡において使用されるドイツ語表現を分析し、その意味論的・実用論的機能を考察する能力を身につける。特に、機能語とされる表現が文内・テキスト内で果たす意味論的機能について、他の類似的・相補的な表現と比較しながら検討する。	西暦奇数年度開講。 01DE459と同一。
02DH460	異文化言語特論演習 (3) IIB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	火5	人社 A707	住大 恭康	特定の状況・脈絡において使用されるドイツ語表現を分析し、その意味論的・実用論的機能を考察する能力を身につける。特に、実際に使用される表現を持つ、会話における機能について、他の類似的・相補的な表現と比較しながら検討する。	西暦奇数年度開講。 01DE460と同一。
02DH463	異文化言語特論演習 (4) IIA	2	1.5	1・2	春ABC	水2	人社 A721	佐々木 勲人	中国語の文法に関する論文を読み進めながら、中国語の諸現象について考える。問題設定の方法や分析の手順など、研究方法を学ぶこともこの授業の目的の一つである。	西暦奇数年度開講。 01DE463と同一。
02DH464	異文化言語特論演習 (4) IIB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	水2	人社 A721	佐々木 勲人	中国語の文法に関する論文を読み進めながら、中国語の諸現象について考える。研究テーマをどのように設定するか、またそれをどのように分析していくかなど、研究方法を学ぶこともこの授業の目的の一つである。	西暦奇数年度開講。 01DE464と同一。
02DH479	論文演習 IIA	2	1.5	2	春ABC	応談		磐崎 弘貞, 卯城 祐司, 久保田 章, 平井 明代	主指導の教員による博士論文作成のための指導。	主として博士後期課程 2年次対象 主専攻必修科目。
02DH480	論文演習 IIB	2	1.5	2	秋ABC	応談		磐崎 弘貞, 卯城 祐司, 久保田 章, 平井 明代	主指導の教員による博士論文作成のための指導。	主として博士後期課程 2年次対象 主専攻必修科目。
02DH481	論文演習 IIIA	2	1.5	3	春ABC	応談		卯城 祐司, 磐崎 弘貞, 久保田 章, 平井 明代	主指導の教員による博士論文作成のための指導。	主として博士後期課程 3年次対象 主専攻必修科目。
02DH482	論文演習 IIIB	2	1.5	3	秋ABC	応談		卯城 祐司, 磐崎 弘貞, 久保田 章, 平井 明代	主指導の教員による博士論文作成のための指導。	主として博士後期課程 3年次対象 主専攻必修科目。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02DH483	論文演習IA	2	1.5	1	春ABC	応談		卯城 祐司, 磐崎弘真, 久保田 章, 平井 明代	主指導の教員による博士論文作成のための指導。	主として博士後期課程1年次対象 主専攻必修科目。
02DH484	論文演習IB	2	1.5	1	秋ABC	応談		卯城 祐司, 磐崎弘真, 久保田 章, 平井 明代	主指導の教員による博士論文作成のための指導。	主として博士後期課程1年次対象 主専攻必修科目。
02DH485	異文化言語特論演習(2) IIA	2	1.5	1・2	春ABC	火2	人社 B615	小野 雄一	コンピュータ、情報通信技術(ICT)を活用したダイナミックな外国語教育の理論と実践に関する文献を講読し、近年のComputer-Assisted Language Learning (CALL)、Technology Enhanced Language Learning (TELL)、およびe-Learningの背景となる理論を教育工学的視点から理解する。	西暦奇数年度開講。 01DE479と同一。
02DH486	異文化言語特論演習(2) IIB	2	1.5	1・2	秋A 秋BC	火2	人社 B615	小野 雄一	最近のComputer-Assisted Language Learning (CALL)における実践研究に着目し、学生自身のPCを活用しながら多くのハンズオンを実施し、高等教育機関の授業におけるICTスキルの向上を目指す。	西暦奇数年度開講。 01DE480と同一。
02DH487	言語コミュニケーション特論IA	2	1.0	1・2	春AB	木4	共同 A604	井出 里咲子	言語人類学及びことばの民族誌研究が明らかにしてきた、「話す」という概念の普遍性と多様性について考える。日常会話としての談話研究のための教科書と論文を読み、課題に取り組むことにより、文化や社会を映し出し、同時に作り出す社会行為の実践の場としての談話をデータとして分析する手法について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 02DMW41と同一。
02DH488	言語コミュニケーション特論IB	2	1.0	1・2	秋AB	木4		井出 里咲子	言語人類学及びことばの民族誌研究が明らかにしてきた、「話す」という概念の普遍性と多様性について考える。日常会話としての談話研究のための教科書と論文を読み、課題に取り組むことにより、文化や社会を映し出し、同時に作り出す社会行為の実践の場としての談話をデータとして分析する手法について学ぶ。	西暦奇数年度開講。 02DMW42と同一。
02DH489	言語コミュニケーション特論IIA	2	1.0	1・2					言語人類学及びことばの民族誌研究が明らかにしてきた、「話す」という概念の普遍性と多様性について考える。日常会話としての談話研究のための教科書と論文を読み、課題に取り組むことにより、文化や社会を映し出し、同時に作り出す社会行為の実践の場としての談話をデータとして分析する手法について学ぶ。	西暦偶数年度開講。 02DMW43と同一。
02DH490	言語コミュニケーション特論IIB	2	1.0	1・2					言語人類学及びことばの民族誌研究が明らかにしてきた、「話す」という概念の普遍性と多様性について考える。日常会話としての談話研究のための教科書と論文を読み、課題に取り組むことにより、文化や社会を映し出し、同時に作り出す社会行為の実践の場としての談話をデータとして分析する手法について学ぶ。	西暦偶数年度開講。 02DMW44と同一。
02DH491	相互行為論特論IA	2	1.0	1・2	春AB	金5	人社 A201	高木 智世	会話分析の視点、および、最も重要な分析概念の一つである連鎖組織について、Schegloffらによるテキストを精読しながら、実際の日本語会話データへの適用を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DMW37と同一。
02DH492	相互行為論特論IB	2	1.0	1・2	秋AB	金5	人社 A201	高木 智世	会話分析の視点、および、最も重要な分析概念の一つである連鎖組織について、Schegloffらによるテキストを精読しながら、実際の日本語会話データへの適用を検討する。	西暦奇数年度開講。 02DMW38と同一。
02DH493	相互行為論特論IIA	2	1.0	1・2					会話分析の視点や手法、重要な知見について、Sacks, Schegloff, Jefferson, Heritageなど、代表的な会話分析研究者による論文を精読することによって理解を深め、実際の日本語会話データへの適用を検討する。	西暦偶数年度開講。 02DMW39と同一。
02DH494	相互行為論特論IIB	2	1.0	1・2					会話分析の視点や手法、重要な知見について、Sacks, Schegloff, Jefferson, Heritageなど、代表的な会話分析研究者による論文を精読することによって理解を深め、実際の日本語会話データへの適用を検討する。	西暦偶数年度開講。 02DMW40と同一。